

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成28年9月8日 (2016.9.8)

【公表番号】特表2015-530286(P2015-530286A)

【公表日】平成27年10月15日 (2015.10.15)

【年通号数】公開・登録公報2015-064

【出願番号】特願2015-524725(P2015-524725)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

B 6 0 C 1/00 (2006.01)

C 0 8 K 3/04 (2006.01)

C 0 8 K 3/36 (2006.01)

C 0 8 L 53/00 (2006.01)

C 0 8 L 53/02 (2006.01)

C 0 8 L 7/00 (2006.01)

C 0 8 L 9/00 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 27/00 1 0 4

B 6 0 C 1/00 Z

C 0 8 K 3/04

C 0 8 K 3/36

C 0 8 L 53/00

C 0 8 L 53/02

C 0 8 L 7/00

C 0 8 L 9/00

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月21日 (2016.7.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも下記の 2 つの重ね合せエラストマー層：

・少なくとも 1 種の熱可塑性エラストマー (TPE) をベースとし、熱可塑性エラストマーの含有量が 50phr (エラストマー 100 質量部当りの質量部) よりも多くから 100phr までの範囲内にある組成物からなる第 1 層；

・少なくとも 1 種のジエンエラストマーと少なくとも 1 種の熱可塑性エラストマー (TPE) とをベースとし、ジエンエラストマーの含有量が 50phr よりも多くから 95phr までの範囲内にあり、熱可塑性エラストマーの含有量が 5phr から 50phr 未満までの範囲内にある組成物からなる第 2 層；

を含み、前記第 2 層中に存在する少なくとも 5phr の熱可塑性エラストマーが前記第 1 層中に存在する少なくとも 5phr のエラストマーと相溶性であることを特徴とするタイヤ用のエラストマーラミネート。

【請求項 2】

前記熱可塑性エラストマーのエラストマーブロックが、エチレンエラストマー、ジエンエラストマーおよびこれらの混合物からなる群から選ばれる、請求項 1 に記載のラミネー

ト。

【請求項 3】

前記熱可塑性エラストマーの熱可塑性ブロックが、60 よりも高いガラス転移温度を有する、また、半結晶性熱可塑性ブロックの場合は60 よりも高い融点を有するポリマーから選ばれる、請求項 1 又は 2 に記載のラミネート。

【請求項 4】

前記熱可塑性エラストマーの熱可塑性ブロックが、ポリオレフィン、ポリウレタン、ポリアミド、ポリエステル、ポリアセタール、ポリエーテル、ポリフェニレンスルフィド、ポリフッ化化合物、ポリスチレン、ポリカーボネート、ポリスルホン、ポリメチルメタクリレート、ポリエーテルイミド、熱可塑性コポリマーおよびこれらの混合物からなる群から選ばれる、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項記載のラミネート。

【請求項 5】

前記熱可塑性エラストマーの熱可塑性ブロックが、ポリスチレンから選ばれる、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項記載のラミネート。

【請求項 6】

前記第 1 層の組成物中の熱可塑性エラストマー (TPE) の含有量が、70 ~ 100phr の範囲内である、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項記載のラミネート。

【請求項 7】

前記第 2 層の組成物中の熱可塑性エラストマー (TPE) の含有量が、5 ~ 45phr の範囲内である、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項記載のラミネート。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項記載のラミネートを含むタイヤ。